



使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。



# ルビーナ®

## 漢方製剤〈連珠飲〉

### 特 徴

第2類医薬品

- ルビーナは、漢方処方「連珠飲」にもとづく製品です。
- 血のめぐりを良くして体を温めたり、水分代謝や乱れた自律神経のはたらきを整えたりすることで体全体のバランスを良くしていき、更年期障害やめまいなどを改善します。
- ほてり、のぼせ、冷え症、疲労倦怠感、めまい、頭痛、不眠、どうき、むくみ、肩こり、腰痛、便秘などの症状があらわれる更年期障害によく効きます。
- 特有の香味をもった灰黄色～灰かっ色の錠剤です。

### ⚠ 使用上の注意



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
  - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
  - (4) 胃腸の弱い人。
  - (5) 下痢しやすい人。
  - (6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
 

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、胃部不快感、食欲不振、胃部圧迫感、腹痛
3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること  
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

### 効 能

体力中等度またはやや虚弱で、ときにのぼせ、ふらつきがあるものの次の諸症：  
更年期障害、めまい、立ちくらみ、どうき、息切れ、貧血

### 用法・用量

次の量を、食後すぐに水またはお湯で、かまずに服用すること。

年 齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	3錠	3回
15歳未満	服用しないこと	



＜用法・用量に関連する注意＞  
用法・用量を厳守すること。

(裏面へ続く)

**成分** 9錠(1日服用量)中に次の成分を含有する。

連珠飲エキス散	3,150mg
トウキ	1,500mg
シャクヤク	1,500mg
センキュウ	1,000mg
ジオウ	500mg
ブクリョウ	2,000mg
ケイヒ	1,500mg
ソウジュツ	1,500mg
カンゾウ	500mg

上記生薬より抽出

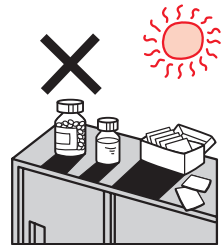
添加物：無水ケイ酸、カルメロースCa、ステアリン酸Mg

<成分に関連する注意>

生薬を用いた製品なので、製品により錠剤の色調が多少異なることがありますが、効果にはかわりありません。

**保管および取扱い上の注意**

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- (4)ビンの中の詰め物は、フタをあけた後はすてること(詰め物を再びビンに入れると湿気を含み品質が変わるものになる。詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するためのものである)。
- (5)服用のつどビンのフタをしっかりとめること(吸湿し品質が変わる)。
- (6)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。
- (7)箱とビンの「開封年月日」記入欄に、ビンを開封した日付を記入すること。
- (8)一度開封した後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。



日本で生まれた漢方処方「連珠飲」

「連珠飲」は、江戸時代に日本で考案された漢方処方で、「四物湯」と「苓桂朮甘湯」の2つの処方を組み合わせたものです。「四物湯」は、血のめぐりを良くして体を温めます。「苓桂朮甘湯」は、水分代謝や乱れた自律神経のはたらきを整えます。これらを組み合わせた漢方処方「連珠飲」は、ほてり、のぼせ、冷え症、疲労倦怠感など、複数の症状が一度にあらわれたり、日によって症状が変化したりする更年期障害などの改善に適しています。

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー「お客様相談室」  
〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号 ☎0120-567087  
受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

●タケダ健康サイト

<http://takeda-kenko.jp>

製造販売元  **武田薬品工業株式会社**

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号